

広報みしま

8月1日号

- 2 特集 三島夏まつり
- 7 みんな、「みしまのファン!」
- 8 箱根西麓の森林 / 環境ボランティア体験講座参加者募集
- 9 パブリック・コメントの募集 / エコドライブについて
- 10 三島市の財政状況
- 12 保健カレンダー
- 13 健康づくり
- 14 スポーツ
- 15 後期高齢者医療制度 / 国民年金の口座振替
- 16 児童扶養手当のご案内 / 子ども医療費受給者証の更新
- 17 ファミリー・サポート・センター / オープンガーデン講習会 / M-ステ
- 18 暮らしの情報
- 21 情報ワイド版
- 22 みんなの伝言板 / 無電柱化事業
- 23 生涯学習
- 24 文化のひろば
- 25 図書館 / 英語スピーチコンテスト / 日本遺伝学会市民公開講座
- 26 三島駅南口の開発に向けて
- 28 フォトマイタウン
- 30 連載 1 水道の将来を考える
- 31 歴史の小箱 / ふるさと探訪
- 32 楽寿園 / 街中だがしや楽校 / ぼくのおばあちゃん



今回の表紙

昨年(2015年)の三島夏まつり山車の引き回し。掛け声に合わせて、一生懸命に綱を引く子どもたち。元気いっぱいの声と共に、今年も三島に熱い夏がやってきます。



三島夏まつり

八月十五日、十六日、十七日

世代を超えて、みんなを支える

受け継がれる伝統と担い手

三嶋大社の例祭に合わせて行われる市内最大のイベント「三島夏まつり」。まつりをにぎわす数々の芸能は、親から子へ、子から孫へ、世代を超えて継承されてきたものです。息をのむほどに迫力あふれるシャギリの競り合い、3日間鳴りやまないシャギリの音、故事・頼朝公旗挙げ行列、郷土芸能農兵節などは、すべてまつりに欠かすことはできません。

今回の特集では、三島の伝統の担い手とともに、未来の担い手である子どもたちをテーマに、各行事を次の世代に継承している人たちを追います。
 三島夏まつり実行委員会 (☎ 971 - 5000)、商工観光課 (☎ 983 - 2656)

子どもしゃぎり



①かつて、みかん箱とベニア板で作られた舞台は、形を変えて子どもしゃぎりを支える②夜の練習にも熱が入る③シャギリを通じて深まる世代間のきずな④想像以上に暑い山車の上でも力いっぱい演奏



40周年を迎える子どもしゃぎり、未来を担う子どもを育てる

450年以上の歴史あるシャギリを次世代へ

シャギリの音色が、まつりを思い出させます



石川正康さん

三島夏まつり 子供しゃぎり運営委員会会長

昭和40年の町名変更などにより、シャギリが衰退に向かっていたさなか、青年会議所の有志が三嶋大社の玉垣前に特設舞台を作り、子どもたちがシャギリ演奏をしたことがきっかけで子どもしゃぎり、始まりました。今の実行委員は、その舞台で演奏をした世代です。「伝統をなくすのは簡単ですが、もどに戻すことは難しい。シャギリの伝統を絶やさぬ一心で活動をしています」と話すのは、子供しゃぎり運営委員会会長の石川さん。

まつりを盛り上げるのが私たちの役目です

最盛期には、50団体以上あった子どもしゃぎりも、今は約40団体。塾や習いごとなどの理由で参加しない子どもも増えていますが、一度参加すると、夢中で練習し、楽しんでいるようです。

「シャギリの継承には、親の意識を変えていくことも必要。まつりを心底楽しみ、盛り上げるのが、私たちの役目。親子で楽しむことで、まつりに参加したい、参加させたいと思う人が増えると信じています」

「子どものころシャギリを体験した人は、その音色を聞くと、夏まつりの熱気を思い出します。それが三島を愛する気持ちにつながり、そのような人が多ければ多いほど、まちが活性化するのだと思います。まち全体で、シャギリや伝統を守り育てていきたいです」

子どもしゃぎり大会 8月15日(月)～17日(水)午後5時30分※16日(火)は午後5時50分、三嶋大社玉垣

体感!三島シャギリ 8月15日(月)午後3時、三嶋大社大鳥居前、イベント時間内では、誰でもはっぴの試着やシャギリ演奏ができます。山車に乗る体験もできます。

大宮町二丁目の練習 参加者の声

【指導者：斉藤洋平さん】

子どもたちに教えるときは、それぞれのいい所をほめるようにしています。また、シャギリでできたつながりは地域にとっても大切なものなので、引き継いでいってほしいです。



【参加した子どもたち】

夏まつりは練習の成果を発揮する場なので、盛り上がり楽しいです。当番町として頑張ります。